

山雲水月

発行責任者 仁叟寺 住職 渡辺啓司

大本山總持寺御開山瑩山紹瑾禪師700回 大遠忌本法要 盛会裏に圓成

大本山總持寺監院の仁叟寺住職が大遠忌法要の統監を勤められました



令和6年 仁叟寺年間行事予定

- 1/1～1/3 年頭祈禱・年賀受
1/4～1/7 年始挨拶
1/10 年賀寺例
2/3 大節分会
2/15 釈尊涅槃会
3/10 大般若会/大施食会
3/17～3/23 春季彼岸会
3/24 観桜供養祭
4/8 釈尊降誕会(花祭り)
7/13～7/16 新暦盂蘭盆会
7/30～7/31(1泊2日)
第41回子供禅の集い
8/10 中元寺例
8/13～8/16 盂蘭盆会
9/19～9/25 秋季彼岸会
10/28 梅花県大会、禅をきく会
11/14 梅花スマイルアゲイン
11/24 檀信徒研修旅行
(大本山總持寺大遠忌研修)
12/8 釈尊成道会
12/10 歳暮寺例
12/31 除夜会

- ※毎週水曜日 定例坐禅会
※隔週水曜日 梅花講稽古
※隔週土曜日 華道教室
※毎月最終土曜日 ヨガ教室

本年は、大本山總持寺總持寺を開かれた太祖瑩山紹瑾禪師様の700回大遠忌法要の正当の年であり、本法要が4月1日～21日にかけて荘厳に執り行われました。

大本山總持寺監院である当山住職が当法要の統監として任に当たり、3週間に亘る大法要を統監としておつとめされました。大本山永平寺、大本山總持寺の曹洞宗両大本山貫首猊下はじめ全国より曹洞宗門の重責を



高円宮久子妃殿下を迎える住職

高円宮久子妃殿下がご参拝にご来駕されました。併せて「珊瑚閣」等の記念植樹をなされました。

また参道に大遠忌記念碑が建立され、石附禪師様と共に揮毫された本山の地元選出の代議士である菅義偉前総理大臣を迎え、除幕式を行いました。

本山のみならず理事長をつとめる鶴見大学ほか学校法人や社会福祉法人等の運営も多忙を極めております。当山住職が活躍されております事、ここにご報告申し上げます。

担う諸老師方がご法要のご導師をつとめ、他宗管長ほか多くのご寺院様、檀信徒、各種団体等の皆様方が「一味同心」となり、50年に一度の難値難遇の大法会を共に修行いたしました。

大本山總持寺は後醍醐天皇以来、皇室ゆかりのご本山であり、大遠忌法要では



石附猊下、菅前総理と住職

自らを洲とする ～能登半島地震復興支援～



能登半島地震物故者供養法要

ことは勿論、全国御寺院、檀信徒はじめ有縁の皆様方への勧募も既に始まっております。

また、4月に修行された大遠忌法要では、第1日目となる初日に能登半島地震被災物故者に対し、慰霊法要を監院老師が導師をつとめ執り行われました。被災物故者のご冥福を祈り、能登の復興を祈念いたします。

本年1月1日元旦に発生した能登半島地震は、大本山總持寺が明治時代に横浜鶴見にご移転を果たす前に所在した石川県輪島市を中心とした能登地域に甚大な被害をもたらしました。以前本山があった場所は、現在は国指定重要文化財である總持寺祖院が所在しており、曹洞宗の源流ともいえます。

その祖院様の復旧復興の為、当山住職は本山監院として、数度に亘り能登に入りました。水道が5月末でようやく復旧し、これから復興についての指針を検討していくこと



總持寺祖院様（輪島市）への視察

大般若会大施食会、盛会に圓成

去る3月10日に執り行われました当山恒例の大般若会大施食会。本年は法要に先立ちまして、住職の実弟で東洋大学名誉教授の渡辺章悟先生に「般若の智慧」と題し、大般若経についての講演を賜りました。ありがとうございました。

仁叟寺所蔵の大般若経は、高崎市内で一番古く江戸時代延宝年間に作製され、全600巻、欠けることなく現存しています。法要では、高崎市指定重要文化財でもある大般若経典を転読し、その風に当たると一年間無病息災と伝えられています。

大般若会に相応しいご講演をいただきました事、感謝申し上げます。



プロジェクターを使った講演の様子

草月流汀美会の野外生け花作品披露

6月初旬、仁叟寺本堂前・山門・総門に、草月流汀美会師範の皆様方により、野外に生けるをテーマに、作品群が飾られました。流木等の木材や竹材を利用し、趣のある作品群が披露され、訪れる方々に癒しをいただきました。

汀美会竹内政子前会長が仁叟寺墓所に眠っておられるご縁により、開催されました。



㊤2点 山門 ㊤本堂前 ㊤2点 総門 の作品

里山再生事業 もみじ山仁叟寺古墳公園整備



里山再生事業ボランティア集合写真（6月9日）

本年も平成25年の高崎市里山元気再生事業より引き継いでおります「仁叟寺もみじ山古墳公園」の下草刈りボランティア作業を6月9日に行いました。参加いただきました総代人世話人の皆様、ありがとうございました。次回は8月4日を予定しておりますので、引き続き宜しくお願い申し上げます。

植樹されたモミジ、サクラは勿論、紫陽花、紫蘭、カタクリ、雪割草、彼岸花、キツネノカミソリ、福寿草も根付いて参りました。

た。当寺に見えられましたら、季節の花々が迎えますので、是非ご清遊ください。合わせまして、整備した遊歩道が、地元地区の方々のご協力で清掃作業を行っておりますこと、ここに報告し御礼申し上げます。

樹木アカシヤ等の伐採 ～古墳公園整備～

仁叟寺古墳公園の敷地内に、アカシヤの老木が植えられており、その伐採を長期的な計画を立てて進めております。アカシヤは戦時中の燃料不足の折、薪用に日本各地に植えられた外来樹であり、すぐに成長しますが、根が浅く倒れ易い特徴があります。住居付近の危険木は早期に対応しましたが、まだまだ多数のアカシヤがあります。

当山檀信徒の鈴木昌邦様を中心にした関係者に依頼申し上げ、高崎市指定史跡になった古墳群周辺地域の整備を進めておりますこと、報告申し上げます。またアカシヤは薪材として使われます。必要な方は、当山迄お問い合わせください。



古墳群周辺地域の整備作業



龍源寺人災裁判についての報告

既に寺報でもご報告したとおり、龍源寺人災に於ける境内地及び墓地の被害についての係争は、事件から4年以上経過した一昨年12月に、寺側原告の主張に沿った判決が言い渡されました。被告側が不服とし控訴しましたが、昨年10月に第二審判決直前に控訴を取り下げ、結審しました。ところが、被告側より損害金の支払いがなされず、財産隠匿の疑いもあり、警察署等に告訴をしたところ、今年3月に漸く損害金が納められました。これを受け、復旧工事に至るまで、長い年月が掛かりましたが、4月より龍源寺墓所の原状回復工事を鋭意進めております。



復旧工事が進む
龍源寺墓地

